

## 令和2年度第4回理事会議事録

一般社団法人  
静岡県建設コンサルタンツ協会

1. 開催日時 令和2年9月18日(金) 10時15分開会 12時00分閉会

2. 開催場所 協会会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修 齋 秀之  
浅岡論志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明  
監事 杉山 博 小田稔彦  
事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち9名(全員)が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4. 議 事

(1) 災害協定の一元化について

県交通基盤部河川砂防局の太田土木防災課長が当協会を訪れ、災害協定の一元化に関する依頼があった。

依頼の内容は、昨年の台風19号による県東部地域での災害の集中発生時において、災害復旧への迅速な対応が地域内の業者のみでは困難であったことの教訓を踏まえ、今後の大規模な災害発生時に県、建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会が連携して迅速・的確に対応するための体制づくりの検討を開始したいので、当協会に参画を頂きたいとのことであった。

県との質疑、役員間で議論の結果、様々な課題はあるものの、県からの依頼の趣旨は賛同できるので協力することとし、土木防災部会（小田会長）が窓口となって検討に参画することとなった。

(2) 令和2年度各部会事業について

- ・ 農林・環境部会の事業では、令和2年9月10日に40名の参加を得て「研修会(静岡県経済産業部農地局など3講演)」を開催したこと、また、一部の講演については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、協会では初めての試みとなる東京の講師とのオンライン方式により実施したことについての報告があった。
- ・ 都市（まちづくり）部会、上・下水道部会の事業では、令和2年10月22日開催予定の「まちづくり講習会」に関し、東京からの講師（国土交通省）の来静の適否について検討を行った。

この結果、新型コロナウイルス対策に関する現状（令和2年9月12日から本県の新型コロナウイルス警戒レベルが4から3に引き下げられ、東京都から本県への訪問の「自粛」は解除されていること。令和2年10月1日からGOTOトラベルキャンペーンの東京除外が解除予定であること。）を踏まえ、十分な感染防止対策を講ずれば、東京から来静した講師に講演を頂くことは問題なしとし、蓮池理事に国土交通省との調整を図って頂くこととした。

- ・ 土木防災部会、道路・構造部会の事業では、令和2年11月5日に「研修会(静岡県危機管理部など2講演、建コン協会社員の技術研究発表2題)」の開催を予定しているとの報告があった。

また、小田部会長から技術研究発表を行う者の推薦について、服部副会長、芹澤副会長に依頼が行われた。

(3) 国土交通省県内事務所との意見交換会について

国土交通省県内7事務所と建設関連業3団体（建設コンサルタント、測量設計、地質調査）との意見交換会については、井林衆議院議員秘書、静岡国道事務所、関係団体（測量設計、地質調査）と調整の結果、令和2年11月9日に開催されることとなったとの報告があった。

(4) 県（交通基盤部、農地局）との意見交換会について

- ・ 県交通基盤部と協会との意見交換会については、令和2年10月21日に開催することとしており、今後、木犀会において会員要望事項を取りまとめ、10月上旬に県あて要望事項を提出する予定であるとの報告があった。また、事務局あて会員から提出された要望事項の資料提供があった。
- ・ 県農地局との意見交換会については、開催時期が未定であったが木犀会世話人による調整の結果、令和2年11月13日に開催されることとなったとの報告があった。

また、事務局あて会員から提出された要望事項の資料提供があり、今後、木犀会において会員要望事項を取りまとめ、令和2年10月13日に県あて要望事項を提出する予定であるとの報告があった。

(5) 令和2年度予算執行状況について

本年度の8月末現在での「事業費」＋「管理費」の執行率は、昨年同期の42%を若干下回る39%で推移していること、また、技術研究発表会の中止等の要因により、次期繰越額は前年の186万円を大きく上回る300万円程度となる見込みであること等について報告があった。

(6) 道路啓開訓練について

沼津河川国道事務所等が主催する東部地域道路啓開訓練が令和2年11月25日に実施される予定であり、当協会に対してもドローンを活用した津波浸水域の被災状況確認訓練、橋梁段差による通行障害発生に関する訓練への協力依頼がなされているとの報告があった。

また、静岡国道事務所からも当協会に対して、令和2年10月6日に開催の中部地域道路啓開訓練の実施に係る第1回ワーキングへの参加が依頼されているとの報告があり、協議の結果、服部副会長が参加することとなった。

(7) 静岡新聞への女性技術者記事の掲載について

令和2年7月31日の静岡新聞（朝刊）に、協会会員の女性技術者たち3名の活躍する姿が「やりがい実感公園設計の女性技術者たち」として掲載されたとの報告があった。

また、当該記事は広告料金に換算した場合には約500万円に相当するものであり、事務局では協会のPRに活用するために、静岡新聞社に対して著作物使用許諾申請を行い、これが認められたことから協会のHPに当該記事を掲載しているとの報告があった。

(8) 県交通基盤部フォトコンテストについて

県との共催により実施しているコンテストについて、最終応募件数は237件で昨年の288件を下回ったこと、また、森崎会長に参加していただく最終審査は令和2年10月7日、表彰式は令和2年11月5日に行われるとの報告があった。

(9) 「新技術交流イベント inshizuoka2020」の開催について

令和2年11月5日に開催される当該イベントに関し、県から協会に対して、オンライン方式により県内技術系高校生に最新技術や建設産業の業務内容等を伝えるためのPR動画等の提供依頼があり、今後、協会員に照会の上、適当な動画等があれば情報提供を行うとの報告があった。

(10) 「衆議院議員井林たつり君を育てる会」について

当協会の顧問である井林衆議院議員を育てる会が令和2年10月26日に東京都内で開催されるので例年どおり協賛することとした。

また、令和2年11月4日に焼津市で開催される講演会にも役員が出席することとなった。

(11) 報告事項

ア 全国建設コンサルタント業協会連合会意見交換会について

例年開催されている全国建設コンサルタント業協会連合会の意見交換会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して、本年度の開催は中止となったこと、また、東海地区コンサルタンツ連絡会議についても同様の理由により本年度の開催は見送りとなったとの報告があった。

イ 県農地技術研究発表会、県交通基盤部技術発表会について

県農地技術研究発表会が令和2年10月30日、交通基盤部技術発表会が令和2年11月17日に予定されており、現在、受講生の募集中であること、また、例年、当該発表会には当協会会員社員への発表の依頼があるが、本年度は当協会の技術研究発表会が開催されなかったこと等の理由もあり、県からの発表依頼はなかったとの報告があった。

ウ 訃報への対応について

全国建設コンサルタント協会連合会会長富田晃弘様の御母堂である美枝子様が令和2年9月2日に御逝去されたため、連合会事務局と協議の上、会長名による生花対応を行ったとの報告があった。

エ その他

<協会パンフの作成>

牧田技術研究部会長から、前回の理事会で「素案作り作業への着手」が認められた新たな協会パンフ（コンパ水版）について、次年度の作成を前提として、本年度の準備作業に係る予算（企画事業者経費）を確保して頂けないかとの話があった。

このことを受けて理事会で協議した結果、本年度の事業計画では本事業を正式に予算化していないので、あくまで現時点では部会の活動の範囲内で将来の作成に向けた準備作業として取り組んで頂くこととなった。

<静岡理工科大学へのPR>

芹澤副会長から、静岡理工科大学が令和4年4月から「土木工学科」の開学を予定しており、今後の業界における人材確保等を勘案した場合、早い時期からの積極的なPR活動により、大学との連携を深めていくことが重要だとの話があった。（県西部地域局が仲介を実施）

<テクリス登録>、

森崎会長、藤山副会長から、県の業務委託共通仕様書が令和2年10月1日から改正され、テクリス登録について100万円以上の業務が義務化等となったことについて、業界に過重な負担や不利益が生ずることのないよう、今後、県との意見交換等の場を通じて議論を進めていく必要があるとの発言があった。

<静岡大学土木情報学研究所>

藤山副会長から、静岡大学に新たに土木情報学研究所が設置される予定であり、県測量設計業協会も「教育研究支援及び協力研究員」として参画していくとの話があった。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第4回理事会を12時00分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和2年9月18日

議長・代表理事 森崎祐治 ⑩

監事 杉山博 ⑩

監事 小田稔彦 ⑩